

極秘

電信寫

2779

40

昭和18 六四五九七 (暗) 南京 十月十五日一九〇〇發
 六四五九八 本省 十五日二二二五發

重光外務大臣
 第一六四號 (大至急) 極秘

(日本國中華民國間同盟條約ニ關スル件)

往電第一六三號ニ關シ

本使ヨリ汪主席ニ對シ説明シタル要點左ノ通り

一、先ツ新同盟條約ハ本條約附屬議定書及交換公文ノ三者ヨリ成リ

二、締結セル日華基本條約及附屬書類ニ代ルヘキモノニシテ日華間ノ基本的關係ヲ新ニ律スル訓期的ノ條約ナル旨ヲ述ヘ之ニ對シテ本年一月九日ノ日華共同宣言ハ大東亞戰爭繼續中ニ於ケ

286 B 1.1.1.0 - 27 6661

0325

要再回

2778

39

外機密

十七七四六 暗 昭和十八年十月十四日後八時五〇分 條

在東京 谷大使

日本國中華民國間同盟條約ニ關スル件

第二五三號 極秘 大至急

貴電第一六三號ニ關シ

三十日訓印ノ件及汪行政院長ヲ中華民國側署名者トスル件當方シテ異存ナシ

大東亞省ト協議中

重光外務大臣

285 B 1.1.1.0 - 27

6660

0324

極秘

電信寫

2781

42

3

新關係ノ最高目標ヲ示セルモノニシテ今後中國ノ内部ニ全而和平實施又ハ大東亞戰爭ノ勝利ハ疑ナキヲ以テ其ノ嚮ニハ此ノ理想ヲ完全ニ實現セラルル次第ナリ帝國ハ中國ニ對スル此ノ公正ナル態度ヲ嚴肅ナル條約ノ形式ニ於テ世界ニ表明セシトスルモノニシテ此ノ態度ト之ニ對スル決意トハ一點ノ疑ナシト信スルモノナルカ右ハ今ヤ中國ニ澎湃タル全而和平ノ氣運ニ對シテモ相當效果アルモノト信スト述ヘ更ニ中國人ノ間ニ於テハ帝國ノ斯ル態度ヲ以テ戰爭ニ弱リタル結果ナルヘシ等誤解スルモノアルヤモ計ラレサルカ右ハ誤レルモ甚タシキモノニシテ斯カル大膽ナル方針ハ帝國カ必勝ノ態勢ニ立テ必勝ノ信念ニ基イテコソ始メテ取り得ル所ニシテ此ノ點ハ曩ニ主席訪日中ニ充分感得

1.1.1.0 - 27

6663

外務省

0327

極秘

電信寫

2780

41

ル日華兩國ノ協力關係ヲ規定シ謂ハハ前者ハ兩國間緩急ノ協力關係ヲ夫々規定セルモノニシテ過般來日華兩國當局ニ於テ基本的及臨時的規定ヲ以テ今後兩國ノ新關係ヲ律シタキ意見ノ交換アリタル経緯ニ副フ旨ヲ述フ

三帝國カ本條約ノ締結ヲ提議セル眞意トシテ大東亞戰爭以來東亞ノ大勢一變シ初メテ日華兩民族ハ第三國ノ策動ノ爲相争フノ謂ハレナキニ至レルノミナラス協力共榮シ得ヘキ本然ノ關係ニ復歸セリ之東亞ノ歴史的一大轉回ニシテ帝國ハ此ノ情勢ニ即應シ對華新政策ヲ樹立シ種々之カ實踐ニ努力シツツアル次第ナルカ其ノ意圖スル所ハ中國ノ自主獨立並ニ繁榮ヲ圖リ相携ヘテ大東亞建設ノ大業ヲ分擔スルニアリ今回ノ條約ハ即チ右ノ如キ日華

1.1.1.0 - 27

6662

外務省

0326

極秘

電信寫

2783

44

5

ク戦争繼續中ノ協力ヲ意味スルコトナル次第ナルカ其ノ過渡期ニ於テモ日本側ハ決シテ共同宣言ヲ口實ニ必要以上ノ要求ヲナシ又ハ故意ニ現状ノ調整ヲ回避セントスルカ如キ底意ヲ有セス殊ニ全面和平實現後ハ附屬議定書交換公文所載ノ通り情勢ハ一變スヘキ旨註釋シ置ケリ(丁)

1.1.1.0 - 27

6665

外務省

0329

極秘

電信寫

2782

43

ラレタルモノト察セラルルカ今後モ萬一中國側ニ斯カル誤レル觀察アラハ之カ是正方適當ノ方法ヲ講セラルヘキコトヲ期待スル旨ヲ述フ

三、最後ニ條約ノ内容ニ付テハ邊ニ主席訪日ノ際要點ハ東條總理ヨリ直接述ヘラレタルニ付既ニ御承知ノ筈ニシテ其ノ後種々検討ヲ加ヘラレツツアルコトト察セラルルカ更メテ説明スヘント前從シ本條約附屬議定書及交換公文ノ内容ヲ逐一説明シ基本條約及附屬書類ノ廢棄ニ依リ消滅ニ歸スヘキ事項ニ付新舊相照シテ詳細説明ヲ加フルト同時ニ日滿華共同宣言方依然存續スヘキコトヲ待ニ指摘シ本條約實施後ハ軍事上經濟上ノ協力ハ基本條約等ノ場合ト其ノ根據及性質ヲ異ニシ主トシテ日華共同宣言ニ基

1.1.1.0 - 27

6664

外務省

0328

45

極秘

電信寫

2784

昭和10 大四六一三 暗 南京 十月十六日〇〇四五號 條
 六四六一三 本省 十六日〇三四五號
 六四六一四

重光外務大臣
 第十六五號 (緊急)
 谷 大 使

往電第十六三號ニ關シ
 (日本國中華民國間同盟條約ニ關スル件)

十五日汪主席(周佛海、褚民誼同席)ト會談セル處主席ハ先ツ本條約ニ對スル根本的考ヘ方ニ付申上ケタシト前提シ先般東條總理ハ本件同盟條約ハ東亞ニ於ケル二大民族ノ永久的友好關係ヲ律スヘキ基本的ノ條約ナリト謂ハル寔ニ其ノ通りナルカ更ニ一萬本條約ハ之ヲ公表セル場合重慶側大多數ノモノヲシテ文句ノ付ケ様ナ

外務省

0330

1.1.1.0-27 6666

44

極秘

電信寫

2785

ク又總ヘテノ者ヲシテ之ヲ見テ全面和平ニ向ツテ努力ヲ傾注セシムル程ノモノトスルコト肝要ナリト述ヘタル後右原則ニ基キ國民政府側ニ於テ慎重研究セル結果ナリト前提シ左ノ通り修正希望案及修正ヲ求ムル事由ヲ説明セリ

一、條約ノ名稱
 同盟ノ二字ヲ削除シ永久友好關係ニ關スル條約又ハ友好關係ニ關スル條約トセラレタシ

二、同盟ノ二字ヲ冠スルトキハ如何ニモ軍事的同盟ノ如キ意味ニ解セラレ逆宣傳ヲ受クル惧アリ全面和平工作上面白カラスト存ス

三、第二條
 我惠ノ上ニ平等ノ二字ヲ加ヘラレタシ

外務省

0331

1.1.1.0-27 6667

292

47

極秘

2786

電信寫

基本條約ニ於テモ平等互取トナリ居リ今平等ノ二字ヲ削除スルトキハ誤解ヲ招クヘシ

三、第四條

全文削除セラレタシ若シ條約ノ規定竝ニ體裁上編輯存置ノ要アルニ於テハ少ク共「當該官憲」ヲ削除シ兩國政府間トセラレタシ

本條ヲ存スル時ハ別ニ秘密ノ約束アルカ如キ疑或ヲ招ク惧アルヲ以テ全文削除ヲ希望スルモ已ムヲ得サルニ於テハ兩國政府間ト改メラレタシ蓋シ當該官憲トスルトキハ如何ニモ中國地方官憲又ハ地方機關ニ細目取極ノ權限ヲ委任シタルカ如キコトトナリ地方官憲カ中央ノ知ラサル内ニ勝手ニ日本側ト細目ナルモノ

外務省

0332

1.1.1.0 - 27

6668

48

極秘

2787

電信寫

ラ取極メ收拾付カサル破目トナル惧アリ日本側ニ於テハ政府ノ正當ナル委任ヲ受ケスシテ中國側ト取極メラナスモノハ非サルヘキモ中國ノ現状ニ鑑ミ懸念セラルル次第ナリ從テ本修正第二案ハ日本側ニ對シ申上クルモノニ非スシテ中國側内部ノ關係ヲ顧慮シテ御願ヒスルモノナリ

四、第五條

本條約及附屬文書ノ署名ニ伴ヒ昭和十五年、、、、其ノ一切ノ附屬文書ト共ニ廢棄セラレヘシト修文セラレタシ

日本政府ノ御趣旨ハ廢棄ニアルヘキヲ以テ明確ニ廢棄トセラレタク「代ラルヘキ」ハ意味明確ヲ缺ク俱アリ

五、交代公文

外務省

0333

1.1.1.0 - 27

6669

49

極秘

2788

電信寫

「現ニ中國ニ存在スル既成ノ事項ニシテ」ノ上ニ「戰爭行爲遂行ニ伴フ特殊事態、既成政權ノ辨シタル事項及各地方ノ特殊状態等」ヲ加ヘラレタク右不可能ナルニ於テハ少ク共「既成ノ事項特ニ各地方ノ特殊状態ニシテ」ト改メラレタシ

要修正事項中國民政府ノ最モ重キヲ置クハ蒙疆華北及揚子江下流地域等地方ノ著シキ特殊性ノ問題ナリ本件同盟條約ノ締結ハ全面和平實現後ノ事態ニ對シ國民ニ多大ノ希望ヲ與フルモノナルカ單ニ將來ニ對シ希望ヲ與フルノミナラス現實ノ事態ニ付和平ノ曙光ヲ與ヘラレタシ例ヘハ華北ノ特殊性ノ如キハ日ニ日ニ化シ行ク様ニ感セラルル處新政策ニ關スル日本ノ誠意ハ素ヨリ信シテ疑ハサル處ナルモ一般民衆ニ對シテモ既成事項ノ内ニ

外務省

0334

295

1.1.1.0 - 27

6670

50

極秘

2789

電信寫

ハ前記ノ如キ事項ノアルコトヲ示サレ全面和平ニ至ルカ豫定期間ニ於テモ具體的事項ニ付逐次所要ノ調整ヲ行ハレ前途ノ希望ヲ益々助長セラレンコトヲ切望ス尙右程度ノ書キ振リナラハ孰レモ基本條約中公表セラレタル條文ニアル文書ニテ又之ニ依リ基本條約カ如何ニモ華北、蒙疆、揚子江、河南ト中國ヲ地域的ニ分割セル印象ヲ與ヘタルヲ是正シ得ヘタシ

以上中國側ノ主張ニ付本使ハ累次御訓電ノ趣旨ニ依リ逐一説明ヲ加ヘタルヲ中國側ノ立ツテノ希望ニモアリ其ノ趣旨ニ於テ本條約ノ精神ニ背馳スル處ナシト認メラルルニ付テハ出來得ル限リ主席ノ希望ヲ達成シ遣ル様篤ト御考慮相成度ク何分ノ儀大至急御回電アリタシ(了)

外務省

0335

296

1.1.1.0 - 27

6671

電信寫

2791

極秘

昭和18 六四六二七
六四六二八
六四六三〇
六四六二四

主管 線路(支線)

南京 十月十六日一五三〇發
本省 十六日一六三四着

青木大東亞大臣
谷 大使

大東亞 外務 各大臣宛(第三七〇號(至急))

(新條約宣傳方針ニ關スル件)

新條約締結交渉ノ模様ニ關シテハ屢次ノ往電ニ依リ御承知ノ通りニ
シテ十五日會談ノ際在主席モ申シ居ル通り今次ノ新條約ハ日支兩民
族間ノ永久友好關係ヲ規畫スルモノニシテ從テ之カ公表ノ曉ニハ一
般民衆ヲシテ本條約ノ精神ヲ體得セシメ勇躍益面和平ノ實現ニ努力

規格-115(東京 1207)

821.1.10-27

6673

0337

電信寫

2790

外

一七八六六

(時)

昭和十八年十月十六日 八時

分

在南京 谷大使

軍外務大臣

日清同盟條約締結ノ件

第二五七號 送達

實証第一六四號及第一六五號及第一六六號ニ關シ

本條約案ニ對スル當方ノ意圖未ダ先方ニ徹底シ居ラザル後存セテ
ルニ付與ニ充分ニ説明セラレ原案ニテ妥協方此上共御努力相成
度

規格-110

821.1.10-27

6672

0336

極秘

電信寫

2792

邁進スルノ空氣ヲ醸成スルコト肝要ナル處一方基本條約關係文書ニ
 未發表ノモノ多數アル爲單ニ新條約文ノ内容ヲ公表スルノミニテ
 新條約締結ノ意義ハ一般大衆ニ充分徹底シ得ス支那問題解決ノ爲
 必要ナル政略態勢ヲ強化セントスル本件條約改訂ノ目的ニ充分副ヒ
 得サル感アルヘキヲ以テ豫メ日華双方緊密ニ連絡ノ上啓發方針ヲ打
 合セ置キ右ニ基キ條約發表ト同時ニ啓發手段ヲ講スルコト時宜ニ適
 スヘク本日高瀬中國側ト折衝シ得タル印象ニモ鑑ミ支那人ヲ目標ト
 シテノ宣傳啓發振（日本國內ニ於ケルモノトハ自ラ異ルモノアリテ
 然ルヘシト存ス）トシテ左記諸點ニ重キヲ置クコト然ルヘシト考ヘ
 居レリ

(一) 本件條約ハ日華間ノ劃期的新關係ニ即應スル基本的關係ヲ新ニ律

大東亞省

規格-B5(東京1207)

821.1.0-27

6674

0338

極秘

電信寫

2793

スヘキ條約ナルコトヲ強調スルコト

(一) 大東亞戰爭完遂ニ關スル日華共同宣言ノ趣旨ヲ強調スルノ餘リ中
 國側ヲシテ日本ハ新條約締結ニ名ヲ藉リ基本條約ト共同宣言トヲ
 スリ替ヘタリト言フカ如キ誤解ヲ與ヘサル様注意スルコト

(二) 本件條約ハ全面和平ノ實現ニ依リ初メテ充分ノ光ヲ發揮スヘキコ
 ト

(三) 一般大衆ヲシテ重慶側抗戰ノ無益ナルコトヲ痛感セシムルト共ニ
 重慶カ米英トノ關係ヲ清算シ亞細亞ニ還ルコトカ東亞ノ興隆ヲ計
 ル所以ナルヲ感得セシムルコト

(四) 全面和平實施ニ至ル迄ノ經過的調整事項ノ處理ニ當リテハ從來モ
 然ルカ如ク今後モ新政體ノ根本精神ニ基キ着々之ヲ具現シ行クヘ

大東亞省

規格-B5(東京1207)

821.1.0-27

6675

0339

極秘

2794

電信寫

ナコト（此ノ點支那側ノ最重視スルトコロニシテ側ヘハ周佛海
 如キハ内約ノ消滅スル結果合辦會社ノ出資比率ニ關スル標準等
 何ニナルヤトノ質問ヲ發セリ）
 但シ日本側ニ於テ全面和平ノ實現ヲ焦慮シ居ルカ如キ誤解ヲ與
 サル様注意スルト共ニ一般大衆ニ對シ全面和平ノ實現近ニアリ
 盲信シ重慶側ノ謀略ニ乗セラレ乃至ハ大東亞戰爭完遂ニ對スル
 心ニ動搖ヲ與フルカ如キコトナキ様注意スルコト
 追テ宣傳方針ニ關シテハ既ニ御研究中ノコトト存スル處前記諸
 ヲモ御參照ノ上宣傳方針ヲ至急決定セラレタシ
 其ノ要旨ニテモ可ナルニ付成ルヘク早目ニ御指示アリタシ

註（轉電先脫漏スル電信課）

規格-B5 (東京 1299)

S 1.1.1.0 - 27

6676

0340

56

外機密

2795

要再面

一七七三四 暗 昭和十八年十月十八日 後十時

在南京 谷大使 重光外務大臣

日華同盟條約案文修正ニ關スル件

第二六三號 緊急

貴電第一六五號及第一六六號並ニ往電第一五七號ニ關シ
 御々今次日華同盟條約我方案ハ中斷御ノ意ノアル所ラ最大限度ニ
 容レ一切ノ譲歩ヲ盡シ國內手續トシテモ最モ複雜ナル経路ヲ經最
 高ノ御決定ヲ得テ漸ク到達シタル所ニシテ當方事情ヲ熟知セラレ
 ル貴大使ニ於テ今更貴電御來示ノ如キ先方ノ申出ヲ我方ニ於テ容
 認困難ナルコトハ御了解ニ斷カラスト存ス就テハ貴大使ハ帝國ノ

政條

0341

6677

S 1.1.1.0 - 27

2797

58

ニ 附屬議定書

「中華民國ニ派遣セラレタル」ヲ「中華民國領域内ニ派遣セラレタル」ト改ム
大東亞省ト協議濟

1.1.1.0 - 27

6679

0343

2796

57

意ノアル所ヲ篇ト先方ニ徹底セシメラレ原案ニ依リ妥結方御努力相成度

我方トシテハ先方ノ申出ニ依リ我方案ヲ變更困難ナルコト前述ノ通りナルカ先方ニ於テ強ヒテ主張スルニ於テハ我方トシテハ先方申出ハ理由ナシト思考シ且之ヲ容認スルコトハ欲セサル次第ナルモ在ケテ我方原案ニ左ノ通りノ修正ヲ加ヘ案文妥結ヲ計ルモ亦已ムヲ得スト認ム委細往電第二十四號参照ノ上可然先方ト折衝セラレ至急回電アリタシ

一 條約第五條

「本條約及附屬議定書ニ依リ代ラルヘキモノトス」ヲ「本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ失フモノトス」ト改ム

1.1.1.0 - 27

6678

0342

2799

60

居レリ

尙本條ハ基本條約第六條第一項ニ有無相補長短相補ノ趣旨及平等互惠ノ原則トアリタルヲ前者(主トシテ日本側ノ要望)ヲ伏セル以上ハ後者(主トシテ支那側ノ要望)ヨリ平等ヲ除ク方カ第二項以下ヲ伏セル意味ヨリスルモ適當ナリトノ見解モ有リ尙雖幾微ナル經濟ヲ經テ互惠ニ落着キタル次第アルニ付此ノ點御含ノ上原案ヲ採擇センメラレ度

(二)第四條ハ之ヲ全體トシテ削除スル時ハ本條約ノ各條カ極メテ根本的ナル原則ヲ規定スルニ止マル關係上如何ニモ本條約ノ實施ニ熱意無キヤノ誤解ヲ與ヘ却テ政治的ニ面白カラサルヘク且條約ノ通例ヨリ見ルモ體ヲ爲ササル處アリ又當該官憲ヲ政府又

1.1.1.0 - 27

6681

0345

2798

59

外機密

十七七七三五(暗) 昭和十八年十月十八日午後十時發 條一

在南京 谷大使

日本國中 華民國間同盟條約ニ關スル件

重光外務大臣

第十二六四號 緊急

注電第十二六三號ニ關シ

(一)第三條ニ付テハ元來平等ナル字句ハ政治的ニ使用スルモノニシテ即チ日華間ノ關係カ平等ナルコトハ基本條約ヲ改訂シ本條約ヲ締結スル全面的意義ニ依リ明瞭ニセラレ居レル處經濟上ノ關係ハ互惠ノ字句ヲ使用シ片面的ニ非サル相互互惠ノ趣旨ニ依ルコトヲ規定セントスルモノナリ依テ支那側ノ言分ハ達成セラレ

1.1.1.0 - 27

6680

0344

62

大東亞省ト協議濟

及各地方ノ特殊狀態等既成ノ事項ノ内容ヲ明瞭ニ指摘スルハ寧
 ロ支那側ノ體面ヨリモ適當ナラスト認メタル次第ナルカ殊ニ各
 地方ノ特殊狀態ノミヲ摘記スルハ却テ日華間ノ誤解ノ種ヲ蒔ク
 コトトナリ適當ナラス

仍テ本件モ原案通ニテ妥結セラレ度尤モ先方ニ於テ特ニ希望スル
 ニ於テハ條約トハ別個ニ我方ト協議ノ上支那側限リニ於テ既成
 ノ事項中ニハ前記ノ如キ種類ノモノヲ含ムモノナル旨適當ナル
 方法ヲ以テ公示スルコトハ異存ナシ

61

ハ國ニ代フルニ於テハ細目ニ關スル協議決定權ノ委任ヲ取付ケ
 置カントスル本條ノ視ヒヲ外スコトトナリ不可ナリ(原案ニ依
 レハ權例字句ナルヲ以テ樞府關係モ膠滯ニ行キ而モ或程度ノ權
 限委任ヲ受クルコトトナル)

尙支那側内部關係上ノ危懼ニ付テハ政府ノ承認ナクシテハ當該
 官憲間ノ協議行ハルルコトナキ次第モ併セテ御説明相成本條ハ
 原案ノ條ニテ承認セシメラレ庶

(三) 交換公文ニ付テハ既成ノ事項中ニハ表ヨリ各地方ノ特殊狀態ヲ
 包含スルモノニシテ之等事項ハ條約上ノ根據ヲ失フモノナルモ
 之カ調整方法ニ付テハ實情ニ適シタル了弊ヲ爲サントスルモノ
 ナリ而シテ戰爭遂行ニ伴フ特殊專能、既成政權ノ辨シタル事項

極秘

電信寫

2802

63

昭和18 六四七〇二 (暗)

南京 十月十八日二、〇〇發
本省 十九日一〇二三着

重光外務大臣

谷大使

第一六九號 (緊急、館長符號扱)

(日華條約ニ關スル件)

今回ノ條約案ニ關シテハ本使ヨリ委曲ヲ盡シテ説明ヲ加ヘ主席モ
良ク帝國ノ意ノ存スル處ヲ諒得セルカ中國人一般ニ與フル感シノ
上ヨリ本條約ヲシテ更ニ一層有效ノモノタラシムル爲最高國防會
議等ノ檢討ヲ經テ中國側ノ希望シ居ル修正案ノ主ナルモノハ大要
左ノ通りナル處右ハ何レモ大局上支障無キモノト認メラルルニ付
テハ實質上御差支無キ限り成ルヘク中國側ノ希望ヲ容認シ遣ル様

6684

S 1.1.1.0 - 27

0349

外務省

極秘

電信寫

2803

64

御配慮相成度ク何分ノ儀折返シ同電アリタシ(以下番號ハ中國側
ニ於テ希望シ居ル願ニ據ル)

一、交換公文

(一)「現ニ中國ニ存在スル既成ノ事項ニシテ」ノ上ニ「戰爭行爲
ニ伴フ特殊事態、既成政權ノ維持タル事項及各地方ノ特殊狀
態等」ヲ加フルカ

(二)「既成ノ事項特ニ各地方ノ特殊狀態ニシテ」トセラレタシ

二、第四條

全文削除ヲ希望スルモ條約ノ性質上右困難ナルニ於テハ(一)「兩
國政府間」又ハ(二)「必要ニ應シ兩國間」ト改メラレタシ

三、第五條

S 1.1.1.0 - 27

6685

3/10

外務省

0348

極秘

電信寫

2805

66

昭和18年十月十八日
南京 十月十八日二〇時四〇分發
本省 十八日二〇時五〇分着

重光外務大臣
第十七〇號（緊急、館長符號）
（日華同盟條約ニ關スル件）
貴電第二五七號ニ關シ
十八日汪主席ト會見、說明ヲ加ヘタル結果主席モ納得シ「同盟」
削除ニ關スル中國側希望ハ之ヲ撤回セルニ付テハ右御承認相成度シ
其ノ他ノ事項ニ關シテ實質的ニハ御異議無キモノト存セラルルニ
付出來得ル限り中國側ノ希望ヲ取入レラルル様此ノ上共御配意相
成度シ（了）

S 1.1.1.0 - 27 6687

0351

外務省

極秘

電信寫

2804

65

「代ラルヘキモノトス」ヲ「廢棄セラルヘシ」トセラレ度シ
四 第二條
互惠ノ上ニ平等ノ二字ヲ加ヘラレ度シ
五 議定書第一條
中華民國ノ次ニ「ノ各地ニ」又ハ「ノ領域内ニ」ヲ挿入セラレ
度シ
大東亞大臣ニ轉報アリ度シ

S 1.1.1.0 - 27 6686

0350

外務省

67

2806

極秘

電信寫

昭和13年十月十九日
南京 十月十九日一五〇〇時
本省 十九日一六五〇時

重光外務大臣

第十七號 (龍長符號、緊急)

(日華同盟條約ニ關スル件)

真電第二六三號及第二六四號ニ關シ

直ニ汪主席ヲ訪問御訓令ノ趣旨ヲ體シ百方折衝ヲ重ネタルカ先方
ノ苦衷モ亦無視シ難キモノアリ結局原案通り承認セシムルヲ得ス
左ノ通り安結セリ右ハ第三條及第四條ニ關スル中國側ノ熱心ナル
主張ヲ壓フル爲ニモ洵ニ已ムヲ得サリシ所ナルニ付テハ枉ケテ御
承認相成度シ

8 1.1.1.0 - 27 6688

外務省

0352

68

2807

極秘

電信寫

(一) 條約第五條「本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ失フモノトス」ト改ム
(二) 附屬議定書「領域内」ヲ加フ
(三) 交換公文
真電第二六四號(三)ノ末段ノ方法ヲ講スルコトトシ原案通
委細追電ス
漢文柔ハ別ニ電報ス
大東亞大臣へ轉致アリタシ

8 1.1.1.0 - 27 6689

外務省

0353

極秘

電信寫

2849

70

約文

前文

「期」ノ下ニ「望」ヲ加フ（期ト期望ト意味同シ）

「互相爲善隣」ノ「相」ヲ省ク（相ノ字ハ爲ノ字ト續カサル際

係上之ヲ省ク意味ニ變無シ）

「以貢獻」ノ「以」ヲ「俾」ニ改ム（漢文トシテ此ノ方良シ）

「和平」ノ次ニ「以」ヨリ「心」ニ至ル迄ノ一六字ヲ「並堅定

決心剷除對此有障害之一切禍根」ト改ム（漢文ノ文法トシテ日

本文ノ原文ノ意味ヲ現ハスニ最上ノ文句ナリ）

第一條

「手段」ヲ「方法」ニ改ム

276 8 1.1.1.0 - 27 6591

外務省

0355

極秘

電信寫

2848

69

昭和18

六四七三九
六四七四一
六四七四六
六四七七六
六四七八二

南京 十月十九日二三〇發
本省 二十日一七五五着

重光外務大臣

谷大使

第十七三號（緊急、極秘）

（日本國中華民國間同盟條約ニ關スル件）

往電第一六一號ニ關シ

十九日國民政府側トノ間ニ條約草案ノ最終「ノート」打合ヲ爲

シタル結果冒頭別電第一六一號ノ中左ノ通り字句ヲ訂正スルコト

トセリ

(甲)

370 8 1.1.1.0 - 27 6590

外務省

0354

極秘

電信寫

2811

4

(乙) 附屬規定書

第一條

「中華民國」ノ下ニ「領域内」ノ三字ヲ加フ

第二項中「根據」ノ次ノ「關於」ノ二字ヲ削除シ（根據ノ二字

トノ兩聯上之ヲ省クコト）漢文法ノ通例ナリ）「及」ノ次ノ「與」

ルモ漢文法トシテ此ノ（方）可ナリ）

第五條

冒頭ニ「自本條約實施之日起」ノ九字ヲ直キ（日本文ノ「本條

約ノ實施ニ依リ」ヲ漢文トシテ表ハセリ）「一併」ノ次ノ「由」

以下全部ヲ消シ「矢奴」ノ二字ヲ以テ結フ

1.1.1.0 - 27 6693

外務省

0357

極秘

電信寫

2810

3

（手段ハ漢文ニテハ術策ノ如キ意ヲ含ム場合モアリ且日本文ノ
手段ヨリモ意味狹キニ付方法ノ二字ヲ用フル方却テ日本文ノ意
味ニ近シ）

第二條

「大東亞」ノ次ノ「及」ヲ「並」ト改メ（動詞ト動詞トヲ緊ク

場合ニハ並ヲ用フ）（安定ノ次ニ「起見」ノ二字ヲ加ヘ（爲カ

安定迄及ホスコトヲ示スニ必要ナリ）「協力」ノ次ノ「豫以」ニ

字ヲ削除ス（日本文原文ニ合セタリ）

第三條

「應」ノ次「實」以下最終迄ヲ「以互惠爲基調實行兩國間緊密

之經濟提携」ノ十八字ニ改ム（日本文ト稍文章ノ構成ヲ異ニス

1.1.1.0 - 27 6692

外務省

0356

極秘

電信寫

ヲ削除シ「關係」ノ條ヲ削除シ（何レモ意味ニ變リナシ）「關」ノ次ニ「概」ヲ加ヘ「疎」ノ下ノ「以」ヲ削除ス（概ハ一概ノ概ノ意ニシテ複数ヲ受クル場合ニ用フル副詞ニシテ漢文ノ通常文法ナリ）

(丙)
交際公文

「戦争状態終了時」ノ次ノ「懸」ヲ削除シ（「調整者」ノ次ノ懸ト重複スルヲ以テナリ）「按」ノ下ニ「照」ヲ加ヘ（按ト按照トハ同義ナリ）「呈表敬意」ヲ「表示敬意」ト改ム（日本文ニ合セタルモノナリ）

大東亞省へ轉報アリタシ

外務省

0358

6594

1.1.1.0 - 27

3/9 8

0359

外務省

極秘

電信寫

要再面

昭和10 一七〇八三
一七〇八四
一七〇八七
一七〇八八

南京 十月二十日 一九三九年
本省 二十日 一九一〇着

重光外務大臣

谷大使

第十七四號（大至急、極秘）

（日華同盟條約ニ關スル件）

同盟條約案第三條及第四條ニ關スル中國側修正希望意見ハ十九日主席（周佛海、褚民誼列席）ト會見ノ上頁電第十二四號ノ御趣旨ヲ讀シ極力説得ニ努メタル結果遂ニ之ヲ撤回セシメタルカ

（一）第三條ノ「平等互惠」ハ基本條約第六條ニ明記セラレ居ル字句ナルノミナラス最高國防會議ニ於テモ取上ケラレタル問題ナル

1.1.1.0 - 27

6595

電信寫

爲先方トシテハ部内ヘノ説明上當惑シ居ルモノノ如ク看取セラレタリ此ノ點ハ今後帝國カ誠意ヲ以テ個々ノ實例ニ付直ニ互惠ヲ基調トスル經濟提携ヲ着々具現シ行クニ於テハ自ラ解消スルモノト存セラル

(二) 第四條ニ關シ條約トシテノ體裁、日本側内部ノ手續ノ關係竝ニ我方ノ法理的見解等ニ付テハ一同克ク納得セルカ何分ニモ戰爭遂行ニ伴フ特殊事態ノ存續長キニ亘レルト國民政府ノ威令未タ充分地方ニ及ハサル爲從來漢口、厦門等ノ地方官憲ニシテ日本單意トノ間ニ國民政府ノ全然知ラサル間ニ取極ヲナシ又ハナササルヲ得サルニ至レル事例鮮カラス此ノ點主席トシテハ其ノ立場上中國政府内部ノ不統一ヲ自ラ暴露スルモノトシテ寔ニ心苦

外務省

0360

8 1.1.1.0 - 27

6696

極秘

電信寫

シキ模樣ニ見受ケラレタルカ從來其ノ先例ニ乏シカラサルノミナラス秘密交換公文(甲)及内約等ハ廢棄セラルルモ現狀ニ基ク蒙城ノ^テ防共ノ自治制及華北政務委員會組織條令等ハ依然殘ル譯ニテ蒙城ノ問題ハ暫ク別トスルモ華北政務委員會ハ防共及治安ニ關スル事項資源ノ開發、對外關係ノ地方的事件等ニ關シ或ル程度ノ自由ヲ有シ居リ(現狀ハ必スシモ組織條令ニ依リ委任セラレタル權限ノ範圍内ノミト言フヲ得ス)地方機關又ハ官憲カ第四條ヲ適用シ第二條ノ(凡ユル援助)ヲ日本側ト協議シ而カモ之ヲ決定スルカ如キコトアリテハト危惧シ居ルコトカ主席ノ本心ト察セラルル就テハ第四條ニ關シテハ日華間條約上ノ理由トハ別ニ國民政府ノ現狀ニ基因スル中國内部ノ政治問題ト

外務省

0361

8 1.1.1.0 - 27

6697

極秘

電信寫

要再刊
(島)

2817

78

昭和18 六四八十八 晴 南京 十月二十一日 一五發 條
 本省 二十一日 一〇七着

重光外務大臣
 第十七七號 (緊急)

(日華條約漢文訂正)

貴電第十六六號ニ關シ
 往電第十七七號ハ左ノ通りトセラレタシ

「日本國根據北清尋變北京議定條款及其有關之文書所有駐兵權
 予放棄」
 從テ「滿洲之文書」ハ誤ナリ(了)

727 8 1.1.1.0 - 27 6699

外務省

0363

極秘

電信寫

2818

77

シテ適當ノ豫防策ヲ考究シ安心ヲ與ヘヤルコト必要ナルヘク例
 ヘハ日本側ニ於テ必要ノ配慮ヲ爲スト共ニ中國側トシテハ條約
 發表ト同時ニ同國側限リノ措置トシテ國民政府ヨリ地方官憲ニ
 對シ(第四條ノ規定ハ細目ニ關スル協議決定ノ點ヲ包括的ニ委
 任シタルモノニ非ス國民政府ヨリ豫メ非常ナル權限ノ委任ヲ受
 クルコトナクシテ對外的取扱ヲ爲スヲ得ス)トノ趣旨ノ命令(要
 スレハ秘密)ヲ發スル等ノコト國民政府ノ現狀ニ鑑ミ眞ニ已ム
 ラ得サル處ト存セラルニ付御研究ノ上何分ノ儀回電アリタシ

大東亞大臣ニ轉報アリタシ

727 8 1.1.1.0 - 27 6698

外務省

0362

電信寫

2819

秘

昭和18 六五二四五
 六五二三四
 六五二三七
 青木大東亞大臣

主管 總務(支線)

南京 十月廿八日一三〇〇發
 本省 廿八日一四四〇着

谷 大使

要特別注意

外務 務 各大臣宛(第廿八七號)(緊急、館長符號扱)

(在院長ノ演說案ニ關スル件)

三十日大會堂ニ於ケル在院長ノ演說案大體出來上リ中國側ヨリ
 聯絡アリタルカ其ノ内條約ニ對スル説明トシテ擧ケタル點ハ第
 一ニ今次ノ撤兵ノ規定ニハ基本條約第三條第四條及第五條ノ如
 キ留保ナキコトヲ明カニシタルコト

規格-115 (標準 120)

B 1.1.1.0 - 27

6701

0365

電信寫

極秘

要再開 島

2818

79

昭和18 十月二十一日一七〇〇發
 南京 二十一日一七三〇着
 本省 電

重光外務大臣

第一九九號(緊急)

(日本國中華民國間向密條約案文訂正ノ件)

貴電第二木九號ニ關シ

左ノ通り

「其有開之文書所有之駐兵權」

(了)

谷 大使

外務省

B 1.1.1.0 - 27

6700

0364

秘

81

電信寫

2820

第二ニ特殊地帯ニ關シ「基本條約第六條第二項ニハ華北及蒙疆ノ字句アリ更ニ第四項ニハ揚子江下流地帯云々トノ字句アリテ動モスレハ中國地域内ニ特殊地帯存スルカ如キ點ヲ與ヘ且右ハ經濟方面ニ止ラス政治軍事各方面ニ於テモ亦之ニ關聯シテ統一ヲ分裂スルノ危險ヲ生スル惧アルコトヲ感セシメタルカ今回ノ條約第三條ハ是等特殊地帯ニ關スル危險ノ念ヲ完全ニ一掃セリト述ヘタルコト第三ニ交換公文ノ既成事實ノ調整ニ及シ「右所謂既成事實ニハ戰爭行為ニ伴ヒ發生セル特殊事項及既成政權ノ辨シタル事項等ヲモ含ムモノニシテ日本側ニ於テハ既ニ基本條約締結以來着々所要ノ調整ヲ加ヘ特ニ新政策實施後ハ中國ノ自主獨立ヲ援助スル爲一大熱意ヲ以テ積極ノ調整ヲ實行セラル

大東亞省

0366

規格-B5 (京東 1207)

B 1.1.1.0 - 27 6702

82

電信寫

2821

タルコトハ承知ノ通ナルカ今回更ニ交換公文ノ通り是等ノ既成事項ハ全面和平實現ノ際ハ根本的ニ調整セラルヘキコト故ニ其ノ過渡期間中ト雖モ兩國協議ノ上出來得ル限りノ調整ヲ行フ旨明白ニ規定アリ斯ノ如キ日本政府ノ公約ハ必ス實行スルノ誠意ニ對シテハ感謝措ク能ハサルモノナリトノ趣旨ヲ述ヘタルコト第四ニ條約第四條ヲ取上ケ同條ニハ條約實施ニ關スル細目ハ當該官憲ニ於テ協議決定セラルトアル處中國國內手續トシテ斯カル對外協定ハ素ヨリ中央ノ指令ニ依リ行ハルヘキモノニシテ其ノ重要ナルモノニ付テハ中央政治會議及立法院ノ議決ヲ經ルヲ要スル次第ナルコトハ言フ迄モナレトノ意味ヲ述ヘタルコト以上四點ナリ

右ハ何レモ中國側トシテ重要視スル點ニシテ案文妥協ノ際種々經緯

大東亞省

0367

規格-B5 (京東 1207)

B 1.1.1.0 - 27 6703

電信寫

要再聞

2823

84

122

大東亞戰爭開始以來東亞ノ情勢ハ一轉シ日華兩國ハ最早第三國ノ
 所ナリ
 議定書ノ調印並交換公文ノ署名ヲ了シタルハ本使ノ最モ欣快トスル
 ノ緊密ナル協力關係トヲ規定セル日本國中華民國間同盟條約及附屬
 本日茲ニ閣下ト共ニ日華兩國間ノ永久的友好關係ト大東亞建設ノ爲
 (日支條約締結ニ對スル大使挨拶)

K (大東亞各大臣宛) 第三八八號 (大至急)

青木大東亞大臣

昭和18 六五二五三
 六五二五

主 管 總 務 (支 總)
 暗 南京 十月二十八日二三五〇發
 本省 二十九日〇三〇〇着
 谷 大使

大東亞省

規格-B5 (東京 1209)

8 1.1.1.0 - 27

6705

0369

電信寫

2822

極秘

アリタルコトハ豫テ申進ノ通ナル處右程度ノ表現ナラハ差支無シト
 認ム何等御異見アラハ折返シ同電アリタシ

(了)

大東亞省

規格-B5 (東京 1209)

8 1.1.1.0 - 27

6704

0368

85

電信寫

2824

動ニ乘セラレ兄弟聯ニ相圖クノ謂ナキニ至レルノミナラス互ニ編修カシテ共存共榮ノ道ニ進ムヘキ本來ノ關係ニ復歸セリ之實ニ東亞ニ於ケル歴史的一大轉回ニシテ帝國ハ此ノ新情勢ニ即應シ處々中華民華國ノ自主獨立ノ完成ニ寄與シ其ノ復興ト繁榮トヲ促進シ兩國間一ノ地歩ニ立チ相携ヘテ大東亞建設ノ偉業達成ニ邁進セントスル根本方針ヲ決定シ本年初頭以來着々之カ具現ニ努カシ來レルカ今次ノ同盟條約ハ即チ右日華間ノ新關係ヲ最モ嚴肅ナル形式ニ於テ表現セルモノニ外ナラス之ニ依リ前述帝國ノ根本方針並ニ之カ遂行ニ關スル帝國ノ強固ナル決意モ亦披瀝セラレテ刺ス所ナシト信ス

本同盟條約ノ調印ニ依リ昭和十五年十一月三十日締結ノ日本國、中華民國間基本關係ニ關スル條約及附屬書類ハ總テ其ノ效力ヲ失ヒ今後日華兩國間ノ基本關係ハ本同盟條約ノ規定ニ依リ建テラルヘク從

大東亞省

規格-115 (東京 1209)

B 1.1.1.0 - 27

6706

0370

極秘

2825

電信寫

テ本條約ハ東亞ノ新情勢ト日華間ノ新關係ニ照シ劃期的意義ヲ有スルモノト謂フヘキナリ曩ニ大東亞戰爭遂行中ニ於ケル兩國ノ協力關係ヲ闡明セルモノトシテ本年一月九日ノ日華共同宣言ニ依リ今茲ニ兩國ノ關係ヲ永久的且根本的ニ律スヘキ同盟條約ノ締結セラルルアリ彼此相俟チテ今後兩國關係ハ史上會テ見サル大轉回ヲナスヘキヤ必セリ

今次ノ同盟條約及附屬書類カ眞ニ重大ナル意義ヲ有スルコト紋上ノ如クナルカ今後中華民國ニ於ケル全般的平和克復シタル際更ニ一層其ノ光輝ヲ發揮シ得ヘキコト勿論ニシテ本使ハ今後中華民國國民全體カ舉ゲテ其ノ本然ノ姿ニ立還リ帝國ト共ニ東亞ノ大業ニ邁進スルニ至ルヘキヲ信シテ疑ハス帝國亦益々必勝ノ趨勢ヲ固メ大東亞戰爭

大東亞省

規格-115 (東京 1209)

B 1.1.1.0 - 27

6707

0371

電信寫

2827

秘

昭和18 一六二七八 暗 南京 十月二十九日一、六〇發
 本省 二十九日一四四三着

青木大東亞大臣
 K (大東亞 各大臣宛) 第三八九號 (大至急)
 外務 (汪主席演說要旨)

往電本第三八七號ニ關シ

汪主席ノ演說ハ長文ニ亙ルヲ以テ要旨(冒頭往電報告四點ヲ除ク)
 ノミ左ノ通電報ス

一、兩國ハ今後平等互惠ノ恒久的友好關係ニ立チ大東亞建設ニ共同努
 カシ得ルコトヲ前提シ

主管 總總(支總)

大東亞省

0373

1.1.1.0 - 27 6709

電信寫

2826

ノ完遂ニ邁進シツツアルヲ以テ日華共同ノ大事業ハ本條約ノ締結ヲ
 機トシ劃期的進展ヲ遂クヘキコト疑ヲ入レヌ本使ハ中華民國カ帝國
 ト共ニ良ク本同盟條約ノ真髓ニ徹シ大東亞ノ建設ト安定確保ニ努力
 セラレ以テ本同盟條約ノ世界史的意義ヲ宣場セラレシコトヲ期待シ
 テ已マス

本日歴史的條約ノ調印ニ當リ一言所見ヲ述ヘテ挨拶ト爲ス(了)

大東亞省

0372

規格-B5(東東 1209) 1.1.1.0 - 27 6708

極秘

2828

電信寫

三本條約ハ二千年來初メテノ東方道義的規約、且中國百年來ノ不平等的桎梏ヲ一掃セルモノナルコト

三本條約ノ適用ハ中國今後ノ努力如何（例ヘハ和平治安ノ回復ハ駐兵期間ヲ短縮スルカ如シ）ニ依ルモノニシテ夫レ以外改善ノ途ナキコト

四本條約改訂ハ日本朝野ノ道義的好意ト同胞的感情ニ出タルモノニシテ中國ヲ起死回生セシメ東亞ニ正シキ平和ノ大道ヲ開ケルモノナルコト

五日本ノ右決心ト實行ハ近衛聲明當時ヨリ英米勢力ヲ驅逐セル今日租界還付治外法權撤廢實施等ニ至ル迄終始一貫セル理念ニ基ケルコト

大東亞省

極秘

2829

電信寫

六事變前兩國提携望ナシトノ悲觀ハ此處數年來ノ事實ニ依リ打破セラレ國父ノ大東亞主義ハ理論ヨリ實行ニ入り吾人ハ今後本盟約ニ基キ同甘共苦同生共死ノ精神的團結ヲ固メ大東亞戰ヲ完遂スヘキコト

七重慶側ハ昔テ「蘆溝橋事件以前ノ狀態」ニ復スレハ和平スル旨主張シタルカ今ヤ右狀態ヨリ勝レルニ至リ現在緊要ナルハ重慶ノ抗戰放棄ニアルノミ蓋シ東亞全體ハ勿論中國自身ノ有利且建設治安生産ノ促進増強トナリ參戰後方義務ヲ盡シ得ヘキコト

八重慶側ニシテ此ノ際抗戰ヲ放棄セサレハ英米ノ爲ノ好餌トナリ英米空軍ノ爲自國民ヲ曝スノミ更ニ大軍ヲ「ビルマ」ニ送ルハ獨立ノ芽ヲ摘ム東亞ノ反逆者ニシテ切ニ重慶側ニ自ラ其ノ歩ムヘキ道

大東亞省

89

三本條約ハ二千年來初メテノ東方道義的規約、且中國百年來ノ不平等的桎梏ヲ一掃セルモノナルコト

三本條約ノ適用ハ中國今後ノ努力如何（例ヘハ和平治安ノ回復ハ駐兵期間ヲ短縮スルカ如シ）ニ依ルモノニシテ夫レ以外改善ノ途ナキコト

四本條約改訂ハ日本朝野ノ道義的好意ト同胞的感情ニ出タルモノニシテ中國ヲ起死回生セシメ東亞ニ正シキ平和ノ大道ヲ開ケルモノナルコト

五日本ノ右決心ト實行ハ近衛聲明當時ヨリ英米勢力ヲ驅逐セル今日租界還付治外法權撤廢實施等ニ至ル迄終始一貫セル理念ニ基ケルコト

大東亞省

0375

規格-B5 (東京 1209)

1.1.1.0-27 6711

規格-B5 (東京 1209)

1.1.1.0-27 6710

0374

2831

92

訂スルニ至リシモノナルヲ以テ基本條約自體カ悪シキモノナリ
 シ如キ印象ヲ與フル説明ハ之ヲ避クルコト
 二、蒙疆、華北等所謂特殊地帯ニ關スル條約ノ規定カ廢止セラレタ
 ルコトニ言及スルハ差支ナキモ此ノ點ヲ強調スルノ餘リ蒙疆華
 北等ニ不必要ナル刺戟ト不安動搖ヲ與ヘ却テ現實ノ事態ヲ惡化
 セシムルカ如キ結果ヲ招來セシメサル様特ニ細心ノ注意ヲ拂フ
 コト

外務省ト協議済

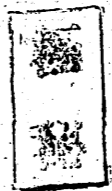
(R. 1927)

1.1.1.0-27

6713

0377

2830



在南京 谷 大使

青木大東亞大臣

昭和十八年十月二十九日十二時三〇分

第一八一大號(局長符號後、緊急)
 (江陵長ノ察謀ニ關スル件)
 貴電第三八七號ニ關シ

本件ハ先方ノ意圖ヲ尊重スヘク我方ヨリ復シ基レ申出ツヘキ筋ニ
 アラサルモ念ノ爲左ノ増點ニ付先方ノ注意ヲ喚起シ實現ニ付キ工
 夫ヲ求メラレタシ

一、基本條約ハ締結當時ノ狀態ヨリ見テ適當ノモノナリシモ其ノ後
 大東亞戰爭ノ發生及之ニ伴フ客觀情勢ノ變化、中間ノ參戰、日
 華新關係ノ劃期的發展等重大ナル事情ノ變更アリタル爲之ツ成

(R. 1927)

1.1.1.0-27

6712

0376

2833

セラレタル所ハ本件條約ノ根本主旨、第五條ノ規定ニ依リ廢棄セラルヘキ基本條約關係文書ノ内容、新條約ト共同宣言及新政策トノ關係等ヲ詳細説明シテ剩ス所ナリ右ニテ始メテ新條約ノ精神明トナレル譯ナルカ其ノ際參考トシテ使用セラレタル書キ物ヲ諒解事項乃至ハ議事録トシテ記録ニ止ムルコトハ新條約ノ内容ヲ明確ナラシムル上ニ於テ極メテ有意義ト認ムル旨申出アリ、右ニ對シ本使ヨリ右口上覺ハ本使口頭説明ノ資料トシテ作成セルモノニシテ其ノ内容ハ固ヨリ東條總理ト貴主席トノ會談、本使歸朝ノ際ノ中央トノ打合並ニ本省屢次ノ訓電等ヲ基礎トセルモノナルカ何分ニモ早急ノ間ニ作成セルモノナルヲ以テ其ノ儘ニテハ或ハ十分意ヲ盡ササル點モアルヘク從ツテ右ヲ御希望ノ如キ性質ノ文書トシ

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 木村精

1.1.1.0 - 27

6715

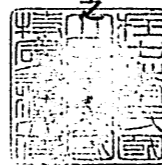
0379

2832

日華間同盟條約締結交渉口上覺ニ關スル件
十月十三日汪主席ト日華間同盟條約案ニ付開談スルニ當リ本使ニ於テハ豫メ別添ノ如キ「日華間同盟條約締結交渉口上覺」ヲ作成シ右ヲ基礎トシテ條約締結ノ目的案ノ内容等ニ付詳細説明ヲ加ヘタル次第ナルカ十五日第二回會談ノ際主席ヨリ先般貴大使ノ説明

大東亞大臣 青木一男 殿

在中華民國 特命全權大使 谷正之



在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 木村精

1.1.1.0 - 27

6714

0378

2835

相成度此段申進ス
本信送付先 大東亞大臣、外務大臣

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本付納

1.1.1.0 - 27

6717

0381

2834

テ取扱フ^為ニハ本省ノ査閲ヲ經ルヲ要シ到底調印迄ニハ間ニ合ハ
サルヘク又本件條約以外ニ別ニ公表セサル諒解事項乃至ハ議事錄
等ノ性質ヲ有スル文書ヲ作ルコトハ今次新條約全部公表ノ主旨ニ
モ沿ハサルヘント説明セル處主席モ納^保シ、然ラハ自分限ノ事務
處理上ノ參考ト致度ニ付十分推蔽ヲ加ヘラレタル上追テ寫ヲ送付
セラレ度右様取計ヲ得ルニ於テハ極メテ好都合ナリト述ヘタリ
就テハ本件口上覺ノ取扱方ニ關シ十分注意ヲ喚起シタル上「先般
口頭説明ノ際本使ノ參考トシテ使用シタル口上覺ヲ御希望ニヨリ
主席ノ極秘含迄送付スヘキ」旨ノ「カバー」ヲ附シタル上別添口
上覺（十月十三日ト日附ヲ附ス）ヲ主席ニ送附スルコト、致度、口
上覺ノ内容御檢討ノ上（適宜修文相成度シ）何分ノ儀折返シ回報

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本付納

1.1.1.0 - 27

6716

0380

極秘

2836

日華間同盟條約締結口上覺
 一 帝國政府ノ訓令ニ其キ本使ハ此處ニ別添ノ如キ案文ニ依リ日本
 國、中華民國內同盟條約及同附屬議定書ノ締結並ニ交換公文ノ
 交換方ヲ提議ス
 本件同盟條約及附屬書類ハ昭和十五年十一月三十日締結ノ日本
 國中華民國內同盟條約及附屬書類ニ置換ヘラルヘ
 キモノニシテ日華間ノ新關係ニ即應スル基本的關係ヲ新ニ律ス
 ヘキ劃期的ノ條約ト謂フベク而シテ本年一月九日ノ日華共同宣
 言ハ大東亞戰爭繼續中ニ於ケル日華兩國ノ協力關係ヲ規定シ居
 リ謂ハス前者ハ兩國間恒久ノ協力關係ヲ後者ハ大東亞戰爭中臨
 時ノ協力關係ヲ規定セルモノニシテ過般來日華兩國當局間ニ於テ

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村

1.1.1.0 - 27

6718

0382

2837

基本的及臨時的規定ヲ以テ今後兩國ノ新關係ヲ律シタントノ意
 見ノ交換アリタル經緯ニモ添フモノナリ
 帝國政府カ本件同盟條約ノ締結ヲ提議セル所以ノモノハ大東亞
 戰爭開始以來東亞ノ情勢ハ茲ニ一變シ日華兩民族ハ始メテ第三
 國ノ策動ノ爲相争フノ調レナキニ至レルノミナラズ互ニ協力シ
 テ共存共榮シ得ベキ本來ノ關係ニ復歸セリ是レ東亞一於ケル歷
 史的一大轉廻ニシテ帝國政府ハ此ノ新情勢ニ即應シ變ニ對テ新
 政策ヲ樹立シ着々之ガ實現ニ努力カツツアル次第ナルガ其ノ意
 圖スルトコロハ中華民國內同盟條約及附屬議定書ヲ促進シ相提携シテ
 大東亞建設ノ偉業ヲ分擔スルニマリ新條約ハ即チ右ノ如キ日華
 關係ノ最高目標ヲ示セルモノニシテ今後全面和平實現シ又大東

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村

1.1.1.0 - 27

6719

0383

2839

一萬一中國側ニ於テ右ノ如キ觀ル考ヲ抱ク者マラハ之ガ
 是正ニ付充分ノ考慮ヲ加ヘラルヘキコトヲ期待スルエ、ナリ

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 未付

6 1.1.1.0 - 27

6721

0385

2838

亞戰爭ノ勝利ハ必至ナルヲ以テ其ノ嚆ニハ此ノ理想ハ完全ニ實
 現ナラルル次第ナリ帝國ハ此ノ公正ナル態度ヲ最嚴肅ナル條約
 ノ形式ニ依リ公表セントスルモノニシテ此ノ態度ト決意トハ一
 點ノ疑ナキ所ナリ
 而シテ右ハ今ヤ中國内へ澎滌タル全面和平ノ氣運ニ對シテ亦
 相當ノ影響ヲ與フルモノト思考セラル尙中國人ノ間ニ於テハ帝
 國ノ斯カル態度ヲ以テ帝國ガ戰爭ニ弱ニナル爲ナラント誤解ス
 ル向アルヤニ計ラサルガ右ハ觀レルニ甚シキモノニシテ斯ナル
 大膽ナル方針ハ帝國カ必勝ノ熱誠ニ立チ必勝ノ信念ヲ有シテコ
 ソ始メテ採リ得ルモノニシテ此ノ點ハ先般汪主席訪日ノ際東條
 總理等トノ會談ニ依リ充分感得セラレタルモノト察セラル

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 未付

6 1.1.1.0 - 27

6720

0384

本條約ノ核心ヲ爲スモノナルカ茲ニ特ニ注意ヲ喚起致シタキハ
 本件同盟條約ニ於テハ米英ニ對スル日華共同ノ戰爭ニ關スル協
 力ニ付特ニ規定ヲ設ケ居ラサルモ右協力關係ハ本年一月九日ノ
 日華共同宣言ニ依リテ律セラルヘキモノナルヘキモノナルコト
 之ナリ日華基本條約カ本件同盟條約ニ依リテ置換ヘラルル結果
 基本條約ニ基ク駐兵權其他ハ消滅ニ至ルヘキモ戰時中及大東亞
 戰爭繼續中ニ於ケル駐兵及戰爭期間中必要ナル軍事上ノ要請及
 便宜供與等ハ日華共同宣言ニ基キ中華民國ニ於テ支障ナキ様措
 置相成ラルヘキコト當然ノ儀ト思考スル次第ナリ即チ帝國ハ本
 年一月九日ノ日華共同宣言ヲ以テ大東亞戰爭繼續中ニ於ケル日
 華兩國ノ關係ヲ規定セルモノトシテ極メテ之ヲ重要視スルモノ

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村精

745 6 1.1.1.0 - 27

6723

0387

ニ同盟條約ノ案文ノ内容ニ關シテハ
 其ノ要點ハ曩ニ汪主席訪日ノ際東條總理ヨリ直接述べラレタル通
 ニシテ既ニ種々檢討ヲ加ヘラレツ、アルコトト察セラルルガ先ツ
 前文ニ於テ日華兩國政府ガ相互ニ善隣トシテ其ノ自主獨立ヲ尊重
 シツツ緊密ニ協力シテ道義ニ基ク大東亞ヲ建設シ以テ世界全般ノ
 平和ニ貢獻センコトヲ期シ之カ障害タル一切ノ禍根ヲ芟除スルノ
 固キ決意ヲ以テ本同盟條約ヲ協定セル旨ヲ定メ第一條ニ於テハ日
 華兩國間ノ本然ノ善隣敦睦關係ヲ規定セルカ本條ハ日華基本條約
 ノ第一條ニ相應スルモノナリ
 第二條ハ兩國ノ大東亞建設及大東亞安定確保ノ爲相互ニ緊密ニ協
 力シ且ツ有ラユル援助ヲ爲スヘキ旨ヲ規定セントスルモノニシテ

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村精

746 6 1.1.1.0 - 27

6722

0386

2843

依り廢棄セラルベキ條約文書ヲ列舉セバ左ノ通りナリ

(一)公表セルモノ

日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約

附屬議定書

附屬議定書ニ關スル日華兩國全權委員間了解事項

(二)公表セザリシモノ

附屬秘密協約

附屬秘密協定

秘密交換公文(甲)

秘密交換公文(乙)

昭和十五年八月二十八日第十五回正式會議議事錄 抜萃

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本材紙

6 1.1.1.0 - 27

6725

0389

2842

ナリ

第三條ニ於テハ互惠ヲ基調トスル兩國間ノ經濟提携ヲ規定シ第

四條ニ於テハ本件同盟條約實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國當該官

憲間ニ協議決定セラルベキ旨ヲ規定セントスルモノナリ右ノ内

第三條ノ經濟關係事項ノ處理ニ關シ特ニ注意ヲ喚起致度キハ戰

争期間中ニ於ケル重要資源ノ開發利用等ニ付テノ帝國ノ諸要請

ニ對シテハ前述日華共同宣言ノ趣旨ニ基キ中華民國側ニ於テ障

碍ヲ與ヘラレザルハ勿論進ンデ萬全ノ協力ヲ爲サルベキハ當然

ノ儀ト思考セラルル點ナリ

第五條ニ於テハ日華基本條約及附屬文書ハ一切本件同盟條約ニ

依り代ハラルベキコトヲ規定セントス。即チ本件同盟條約ガ日華

基本條約ヲ劃期的ニ更新セントスルモノニシテ第五條ノ規定ニ

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本材紙

6 1.1.1.0 - 27

6724

0388

日支新關係調整ニ關スル協議書類

右ニ依リ日華基本條約及附屬文書中ニ規定セラレ居タル左ノ諸項目ハ消滅スル次第ナルカ帝國ハ本件同盟條約締結ノ趣旨ニ鑑ミ同盟條約中ニ右ニ關シ何等留保スルカ如キ規定ヲ置カザル次第ナリ

即チ先ツ駐兵權ニ關シテハ

華北、蒙疆ニ於ケル防共駐屯（基本條約第三條）

共通治安維持ヲ必要トスル間ノ治安駐屯（基本條約第四條）

艦船部隊ノ駐留（基本條約第五條、附屬秘密協約第一條）

ハ消滅シ本件同盟條約ニ於テハ新ニ之ヲ要求セス從ツテ

駐兵間ノ軍事要求權ト便宜供與（附屬秘密協約第二條）並ニ秘

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村精

8. 1.1.1.0 - 27

6726

0390

密交換公文（甲）ノ第二ノ二ノ當該事項及第三ノ五）

モ之ヲ要求セズ尤モ日華共同宣言ノ趣旨ニモ鑑ミ戰爭期間中現實ノ軍事的要求ニハ中華民國側ニ於テ支障ヲ與ヘラレザルベキハ勿論進ンデ萬全ノ協力ヲ爲サルベキヲ信ズ更ニ

軍事顧問、一般顧問及職員ノ招聘乃至採用（秘密交換公文（甲）ノ第五）

ニ關シテハ申華民國側ノ要請ニ基キ顧問乃至職員ヲ派遣スルコトトシ特ニ條約ニ於テ規定セザルモノナリ

又基本條約ニ於テ軍事上及經濟上緊密ナル合作ヲ要スル特殊地帶トシテ制定セラレ居リタル

蒙疆、華北、揚子江下流地域及華南沿岸島嶼ニ關スル事項

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村精

8. 1.1.1.0 - 27

6727

0391

2847

○治外法權及一般内地開放（基本條約第七條）
 損害補償及難民救済（附屬議定書第四條）
 二關シテハ前者ハ本年一月九日ノ條約ニ依リ改メテ規定ノ要ナ
 ク又後者ニ付テモ本件同附條約中ニ特別ノ規定ヲ設クルヲ要セ
 スト解シ居レリ
 尙茲ニ特ニ述べ置キタキハ日華基本條約ガ本件同附條約ニ依リ
 置換ヘラルルモ基本條約ト同時ニ調印セラレタル日滿華共同宣
 言ノ效力ニハ何等影響ヲ及ボスモノニ非ザルコト之ナリ
 第六條ニ於テハ本條約ガ署名ノ日ヨリ直チニ實施セラルベキ旨
 ヲ規定セントス
 次ニ附屬議定書ノ内容ニ就キ説明スベシ

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村

8-1.1.1.0 - 27

6729

0393

2846

（秘密交換公文（甲）第一乃至第四及附屬秘密協約第二條）
 ハ消滅ス尤モ戰爭遂行期間中ニ於テハ右諸事項ノ消滅ノ爲帝國
 ノ軍事上及經濟上ノ諸要請ニ障礙ヲ生ズルガ如キコトハ中華民
 國側ニ於テ之ヲ迴避セラルベキコト當然ノ儀ト思考ス
 更ニ
 外交事項（附屬秘密協定第一條議事錄拔萃第三）
 文化提携（基本條約第二條）
 二關シテハ日華基本條約ノ消滅ニ依リ當該規定モ消滅スル次第
 ナルカ右ハ本件同附條約ノ善隣友好關係ニ基ク一般提携事項ノ
 一部ト看做シ特ニ規定ヲ設ケザル次第ナリ
 以上ノ外

在中華民國日本大使館

18. 5. 50,000 本村

8-1.1.1.0 - 27

6728

0392

附屬議定書第一條ニ於テハ日本國ハ中國ニ於ケル全般的平和克復シ重慶トノ戰爭狀態終了ヲタルトキハ中國民國ニ派遣セラレタル日本國軍隊ヲ撤去スベキ旨ヲ約スルト共ニ北清事變ニ關スル北京議定書及附屬書類ニ基ク駐兵權ヲ拋棄スベキ旨ヲ規定シ第二條ニ於テハ本附屬議定書ガ本件同盟條約ト同時ニ實施セラレベキ旨ヲ規定セントス

右ハ帝國ガ中華民國ノ自主獨立ノ完整ヲ極力支援シ道義ニ基ク大東亞ノ建設ニ邁進セントスル公正ナル態度ノ表現ニシテ日本國軍隊ノ撤去ニハ基本條約ニ存シタル如ク防共上、治安上、慣例上ノ駐兵ノ留保ヲ附スルコトナキモノナリ

最後ニ交換公文ニ關シ説明スベシ

在中華民國日本大使館

18, 5, 50,000 本村稿

8 1.1.1.0 - 27

6730

0394

交換公文ニ於テハ現ニ中華民國ニ存在スル既成事項ノ調査ニ關スル原則ヲ取扱ヒ居ル處

戰爭遂行ニ伴フ特殊ノ事態（附屬議定書第二條第二項）

臨時政府、維新政府ノ辦シタル事項（附屬議定書第二條）

ノ如ク未ダ調査セラレザル部分ヲ存スルモノニシテ本件同盟條約ノ趣旨ニ鑑ミ調整ヲ要スルモノハ中國ニ於ケル全般的平和克復シ重慶トノ戰爭狀態終了シタルトキハ本件同盟條約ノ趣旨ニ準據シテ根本的調整ヲ加フベシ又戰爭繼續中ト雖モ情況之ヲ許スニ應ジ逐次兩國間ノ協議ニ依リ本件同盟條約ノ趣旨ニ準據シテ所要ノ調整ヲ加フベキ旨ヲ中華民國側ヨリ照會ヲ發セラレ之ニ對シ日本側ニ於テ贊成ナル旨ヲ回答セントスルモノニシテ帝

在中華民國日本大使館

18, 5, 50,000 本村稿

7 1.1.1.0 - 27

6731

0395

極秘

2851

電信寫



主管 總總 (支總)

昭和18 六月八日 (晴)

南京 十一月八日 二、三〇發
本省 八日 二、三〇着

青木大東亞大臣

谷大使

第二〇一十二號 (大至急)

(日華間同盟條約締結交渉口上覺ニ關スル件)

南大發政極秘第一七一號發送後數次ニ亘ル汪主席トノ會談ニ依リ主席ニ於テモ條約内容及精神ヲ充分諒解シ結局條約調印前其ノ發表ニ關スル打合ヲ行ヒタル際主席ヨリ先般貴大使ヨリ御注意ノ次第モアリ今回ノ新條約ハ全部公表スルトノ趣旨ニモ鑑ミ本件書類頂戴致スコト必要無シト思料スルニ付前回提言ハ撤回スヘント申出アリタリ

大東亞省

0397

規格-B5 (東京-1207)

1.1.1.0 - 27

6733

2850

國ノ公正ナル態度ヲ表明シタルモノナルニ付中華民國側ニ於テモ戰爭期間中ハ日華共同宣言ノ本旨ニ照シ軍事上經濟上ノ諸要請ニ支障ヲ與ヘラレザラントニ努メラルベキハ當然ノ儀ト思考ス而シテ經濟的調整事項ノ處理ニ關シテハ從來モ既ニ幾多ノ調整ヲ誠實ニ實行シ來タリタルコト周知ノ事實ニシテ將來ノ處理ニ付テモ中華民國側ニ於テ帝國ノ誠意ニ滿幅ノ信頼ヲ寄セラレトコトヲ期待ス

在中華民國日本大使館

18. 5. 50.000 541

1.1.1.0 - 27

6732

0396

2853

杉本 隆彦

博覧院審査委員會ニ於ケル外務大臣ノ日本國中華
 民國間同盟條約説明案
 今回御諮詢ニ相成リマシタ日本國中華民國間同盟條約締結ノ旨ニ付
 御説明申上ゲマス
 帝國政府ハ國民政府ノ參照ヲ以テマシテ日華間同盟條約ノ一大
 總段ト致シ日華提携ノ根本方針ニ則リ得テ國民政府ノ政治力ヲ強化
 スルト共ニ東亞抗日ノ根據地トシテ國民政府ノ政治力ヲ強化
 争元遂ニ邁進スヘキ旨及世界輿論ノ推助ト配合セテ東亞反政ノ取高
 潮ニ逐スルニ先テ右ニ基ク對支諸施策ノ諸員ヲ圖ルベキ旨ヲ決定致
 シ次テ昭和十八年五月三十一日御前會議ニ於キマシテ前記根本方針
 ノ徹底具現ヲ圖ル爲石ニ圖應スル如ク日本國中華民國間同盟條約ヲ
 締結スル條約ヲ改訂シ日本國中華民國間同盟條約ヲ締結スルノ方針ヲ
 決定スル所カアリマシタ東亞内閣總理大臣ハ右ニ基キマシテ六月十
 六日第八十二帝國議會ニ於テ中華民族ハ今ヤ完全ナル自主獨立ノ勳
 章トシテ帝國ト相携ヘテ大東亞ノ建設ニ寄與スル所大ナルモノガア

外務省

1.1.1.0-27 6735

電信寫

2852

極秘

就テハ本件右ニテ既ニ解決シ居リタル次第ニテ御諒承ヲ請フ
 外務大臣ニ轉報アリ度シ

大東亞省

0399

規格-R5 (東京 1209) 1.1.1.0-27 6734

0398

REEL No. A-0227

アジア歴史資料センター

第一條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ兩國間ニ永久ニ善隣友好ノ關係ヲ維持スル爲相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重シツツ各般ニ互リ互助敦睦ノ手段ヲ講ズベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第二條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ大東亞ノ建設及安定確保ノ爲相互ニ緊密ニ協力シ有ラユル援助ヲ爲スベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第三條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ互惠ヲ基調トスル兩國間ノ緊密ナル經濟提携ヲ行フベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第四條ニ於キマシテハ本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國政府官憲間ニ協議決定セラルベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第五條ニ於キマシテハ昭和十五年十一月三十日即チ中華民國二十九年十一月三十日調印ノ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ハ其ノ一切ノ附屬文書ト共ニ本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ失フモノナル旨ヲ定ムルモノデアリマス

外務省

ラウト致シマシテ居リマスル處帝國ハ中華民國ノ興隆ヲ衷心祝福スルト共ニ今後愈々之ヲ支援スルノ決意ヲ深クシ進ンテ日華間ノ條約ニ根本的ナル改訂ヲ加ヘ兩國ノ協力態勢ニ更ニ一步ヲ進メントスル趣旨ヲ首明サレタ次第デアリマス

爾後帝國政府ハ右ノ方針ニ進ヒマシテ慎重審議ヲ遂ゲマシタル後諸般ノ考慮ヨリ本件條約ヲ速ニ締結スルコトヲ適當ト認メマシテ中華民國政府ト交渉ノ結果今茲本條約、附屬議定書及交換公文ノ案文ノ妥結ヲ見ルニ至ツタ次第デアリマス

本條約ハ條約、附屬議定書及交換公文ノ三部ヨリ成ツテ居リマシテ本條約ノ前文ニ於キマシテハ大日本帝國政府及中華民國國民政府ハ兩國相互ニ善隣トシテ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ緊密ニ協力シテ道義ニ悉ク大東亞ヲ建設シ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ期シ之ガ實現タル一切ノ禍根ヲ芟除スルノ權乎不動ノ決意ヲ以テ本條約ヲ協定セル旨ヲ述ベルモノデアリマス

外務省

2857

定ムルモノデアリマス
 本交換公文ニ於キマシテハ兩國全權委員ガ日本國中華民國間同盟條
 約ニ署名スルニ當リ其ノ間ニ現ニ中華民國ニ存在スル既成ノ事項ニ
 シテ本條約ノ趣旨ニ鑑ミ調整ヲ要スルモノハ兩國間ノ全般的平和克
 復シ戰爭狀態終了シタルトキ本條約ノ趣旨ニ準據シテ根本的ニ調整
 セラルベキ旨竝ニ戰爭狀態繼續中ト雖情況之ヲ許スニ應ジ逐次兩國
 間ノ協議ニ依リ本條約ノ趣旨ニ準據シテ所要ノ調整ヲ行フモノトス
 ル旨ノ了解成立シタルコトヲ確認セントスルモノデアリマス
 何卒宜敷ク御審議ノ程御願ヒ致シマス

外務省

(日本標準規格B5)

1.1.1.0-27

6739

0403

2856

尤モ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ト同時ニ調印セラレマ
 シタル日清華共同宣言ハ素ヨリ本條約ニ依リ其ノ效力ニ影響ヲ受ケナ
 イモノデアリマス
 又本年一月九日調印ノ日華共同宣言ハ其ノ效力ヲ存続スル次第デア
 リマス
 第六條ニ於キマシテハ本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベキ旨ヲ定
 ムルモノデアリマス
 附屬議定書ノ前文ニ於キマシテハ日本國中華民國間同盟條約ニ署名
 スルニ當リ兩國全權委員ハ左ノ趣旨ヲ決定シタル旨ヲ通ブルモノデアリ
 マス
 第一條ニ於キマシテハ日本國ハ兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態
 終了シタルトキハ中華民國領土内ニ進軍セラレタル日本國軍隊ヲ撤
 去スベキコトヲ約シマスルト共ニ日本國ハ北清事務ニ關スル北京議
 定書及陳儀書類ニ基ク駐兵權ヲ放棄スル旨ヲ定ムルモノデアリマス
 第二條ニ於キマシテハ本條約ハ條約ト同時ニ實施セラルベキ旨ヲ

外務省

(日本標準規格B5)

1.1.1.0-27

6738

0402

外務省
昭和十八年九月九日
秘
録

日本國中華民國間同盟條約案極密院精製委員會
審查狀況概要

昭和十八年九月九日
於宮中極密院控室

十月二十二日午前九時十分開議、内閣總理大臣及外務大臣ノ説明アリタル後午前九時三十分ヨリ質疑答辯開始、其ノ主ナルモノ概要左ノ通
○石井顧問官 帝國ノ對支政策ヲ賴ルニ世界事務ノ變遷ニ即應シ所要ノ協定締結等ノ措置ヲ採リ來リ何レモ公正妥當ナルモノナリ此ノ際斯ニ兩國間ニ同盟關係ヲ設定スル必要アリトハ了解シ難シ大東亞共榮圈内各國ト帝國トノ間ノ關係ヲラバ了解シ得ルモ日華間ハ一月九日ノ共同宣言ニ依リ既ニ實質上同盟關係ニアリ新條約ハ何ノ爲ニ必要ナリヤ總理大臣説明中ニアリタル中國側ガ基本條約中改訂方希望シ居リタル由ナル條項ハ何々ナルヤ新條約ニモ中國側ニ喜バレカクナル條項ハ見

2853

76

6 1.1.1.0 - 27 6740

當ラズ

○外務大臣 日華關係ハ昨年末以來所謂新政策ニ依リ律セラレ來リタル結果凡ユル不平等關係ハ此際之ヲ是正セムトスル機運ニアリ基本條約ハ當時ノ狀況上内容詳細多岐ニ亘ル規定アリ中國側ヨリ見ルトキハ一種ノ不平等條約ナリ隨テ中國側トシテハ常ニ是ガ改訂ヲ希望シ居リ且重慶側非難ノ的トモナレルモノナリ尙對支新政策ノ大眼目ハ大東亞建設ノ大目的ノ爲兩國ガ凡ユル協力ヲ爲スコトニアル處基本條約ハ右目標迄到達セズ仍テ石大眼目ニ適應セシムル爲及中國側希望ニ應ズル爲本條約ヲ締結セントスルモノナリ
○石井顧問官 基本條約ニ對シ中國側ガ疑念ヲ有スト聞クハ意外ナリ苟モ基本條約ト稱スル以上ハ僅カニ、三年ヲテ改訂スルガ如キ一時的

6 1.1.1.0 - 27 6741

